



花宴

筆：兼松 博子様（ききょう入居）

信頼と敬愛

特別養護老人ホーム山科積慶園
介護支援専門員 橘 智彦



平成 31 年 4 月から施設ケアマネジャーとして勤務させていただいております。平成から令和に変わったのは昨年のことですが、平成が随分と前の事のように感じます。

平成の時代、私が大学を卒業する前年には阪神大震災があり、就職氷河期と呼ばれていました。安全で平和であり、日本が成長し続けていくことは当たり前のように育ってきましたが、同級生が亡くなり、崩れた六甲の街並みを見て、そうではないのだと思い知らされました。平成 25 年には復興支援として岩手県の社会福祉法人で 3 週間ほど出向の形で勤務し、津波の爪痕の悲惨さを知りました。

大学では臨床心理を専攻していましたが、恩師の後押しもあり、福祉の世界で働くことを決めました。恩師には“個人の尊厳を尊重すること”、“言葉には力があること”など臨床心理の実践の場だけではなく、人と関わる仕事をする上で大切な多くの事を教えていただきました。ただ、実際に仕事をする上で、当たり前だと思うことを実践することが、これほど難しいことだとは思いませんでした。

昨今、社会の情勢や施設を取り巻く状況は、これまでには考えられないスピードで変化しています。不寛容の時代とも言われることもあります。そんな時代だからこそ、上皇陛下のおことば「信頼と敬愛」を大切に、山科積慶園というチームで、入居されている皆様に「明日も生きたいな。」と思っただけの施設をつくっていくことができたと思っています

発行責任者

社会福祉法人積慶園
特別養護老人ホーム山科積慶園
施設長 大石 峰一
京都市山科区北花山大林町34番地
電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第 32 号 発行日：令和 2 年 4 月 1 日

個々の思いに 寄り添ったケア

特別養護老人ホーム山科積慶園
ユニットリーダー 小林 友彦



皆さん、こんにちは。令和元年 5 月より 5 階あやめのユニットリーダーとして勤務しています。施設長に話があると呼び出され、趣味の釣りのお誘いかと思いワクワクして施設長室に入ったのですが、まさかのユニットリーダーの任命でした。こんな私にリーダーという大役が務まるのか？そのときは不安に思いましたが、無理はせず自分なりに頑張ってみようと思い、引き受けました。

先日、令和 2 年度のユニット目標を決めるためにユニット職員からの意見を集めました。「入居者様一人一人の過ごしやすい環境を作る」「個々のケア・性格など理解し、相手の立場に立ったケアをする」「入居者様に誠実な介護をする」「個人個人ストレスが溜まっている様子なので気晴らしの場を提供したい」等、たくさんの意見が出ました。最終的に『個々の思いに寄り添ったケアに努める』というユニット目標に決定しました。この目標に向かってチームで一丸となって取り組んでいきます。入居者様・スタッフに思いやりとやさしさを持ったユニットを目指します。ユニット会議以外にも積極的にコミュニケーションをとって連携する・誰もが働きやすいユニットになればという思いです。

まだまだ未熟な私ですが、これからも宜しくお願いします。



《開設記念行事》

11周年を迎えた山科積慶園。今年は令和を迎えて初めてのまぐろ解体ショーでした。今年のみぐろは昨年に比べると2kgも重い43kgの長崎県産本まぐろです。その大きなまぐろが登場すると、入居者様からはその大きさに歓声があがっていました。職人の方による解体ショーは、部位の説明やおいしい食べ方等、まぐろに関する楽しいお話も聞く事ができ、皆様食い入るように見ておられました。後半はまぐろと一緒に記念撮影をしたり、中落ちをスプーンで取る作業を手伝っていただきました。さばいたまぐろは昼食時にぎり寿司にして提供しました。お寿司の上に乗ったまぐろの身は分厚く、入居者様はその大きなネタにも驚かれながら召し上がりました。あちこちから「おいしいわ!」「もうお腹いっぱい!」と声が聞こえ、普段、あまり食べない入居者様もこの日はたくさん召し上がっておられました。解体ショーを目で



見て楽しみ、お腹も一杯。皆様大満足のご様子でした。

(野崎)



《クリスマス会》



利用者様が毎年楽しんで下さるクリスマスイベントを2日間に分け開催しました。クリスマスケーキ作りではユニット毎にイチゴやみかん等の果物をトッピングしたり、チョコソース

をかけてデコレーションをされ、楽しめました。作った後はもちろんおいしくいただきました。もう一日はプレゼントを持ったサンタクロースがユニットにきて入居者様にプレゼントを渡します。プレゼントを受け取った入居者様は素敵な笑顔をされ、とても楽しいクリスマス会となりました。(小島幸)



《もちつき》

毎年恒例のもちつき大会を行ないました。今年は、暖冬で温かい冬でしたが、当日は例年通りの寒さの中、たくさんの入居者様に参加していただきました。職員や子供たちが力強くもちをつくと、周りからは「よいしょ!よいしょ!」と元気なかけ声があがります。ついたもちを、ご入居者様と子供達が協力して丸める姿は、とても微笑ましい事です。つきたてのおもちもおいしく頂き、おかげで良いお正月が迎えられました。(濱野)



《ピラティス（メンタルヘルス研修）》

1月29日、メンタルヘルス研修の一環として職員を対象にピラティスを実施しました。



講師は滋賀県近江八幡市にスタジオを構える木瀬先生。ピラティスとはヨガとは違い、正しい骨格を意識しながら、体幹の筋肉を整えることで姿勢や骨盤のゆがみを改善し、ストレス軽減にも効果があるそうです。今回は職員計17名が参加。激しい運動ではないため、余裕でついてけるだろうと思っていましたが、いざ参加してみると体が思うように動かず、悪戦苦闘。次の日は筋肉痛で大変でしたが、職員からは「スッキリ

した」「体が楽になった」等、満足の声が多くありました。木瀬先生ありがとうございました。(林)



《節分》

2月3日節分の豆まきを行いました。インフルエンザの流行するシーズンということもあり、フロア毎で行い、5階は両ユニット合同で開催しました。



入居者様は「鬼は外、福は内」と大きな声で言い、豆（新聞紙を丸めたもの）を楽しそうに投げておられました。普段あまり活発でない方も、元気に投げておられたので良かったです。(杉村)



《ひなまつり》

3月3日はひな祭りの日！！

今年も各ユニットで、散らし寿司を作りました。入居者様に寿司飯をうちわで扇ぎ、盛りつけを手伝っていただきます。自分達で作った散らし寿司を召し上がる時は、皆さん昔を思い出し、素敵なお顔を



見せてくれました。楽しく・おいしいひな祭りになりました。来年も元気な姿を見せて下さい。

(武田)



《4階誕生日会》

新型コロナの驚異的流行で、外出ができない為、折り紙で桜の花を折って、花見気分を味わっていただき、お誕生日会をしました。



ふじユニットには3月生まれのかたが3名おられ、そのうち2名は99歳を迎えられ、とてもおめでたいです。職員手作りのチョコバナナホットケーキとプリンアラモードを食べて、楽しい時間を過ごしていただきました。お誕生日おめでとうございます。



(大屋)



医務室だより ～～ 自宅でもできる感染症対策 ～～

ここ最近、騒がれている新型コロナウイルスに対して、少しずつ分かってきたことが増え、ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる接触感染と感染者の咳やつばなどの飛沫による飛沫感染といわれおり、まだまだ流行しています。厚生労働省から出されているFAQの中から、風邪症状や37.5℃以上の熱が4日以上続いたり、強いだるさや息苦しさのある方は、受診が必要です。ただし重症化しやすい高齢者や持病のある方は2日程度続けば医療機関へ相談してください。

対策としては普段から、流水による手洗いに石鹸を付け、しっかり洗い流します。その後、アルコール消毒をします。正しいマスクの着用を心がけ、咳エチケットをしましょう。人込みを避けるなど注意も必要です。バランスの良い食事を摂り、しっかり睡眠をとることで免疫力を高めましょう。



デイサービスセンター

ぬくもり

4ヶ月の行事



《12月：クリスマス》

今年のクリスマス会では恒例の職員によるハンドベルの演奏をしました。空き時間を利用して練習し、本番ではちょっと間違えながらも皆さんにお聞かせする事ができました。利用者様は心地良いハンドベルの演奏に聴き入っていました。ビンゴゲームでは賞品を選ぶ時の表情がとても



ケーキの飾り付け

うれしそうでした。おやつはショートケーキのトッピングを自分でしていただきました。お皿にケーキ、生クリーム、バナナなどを盛り付け、自由に飾り付けをして頂こうと思いましたが、中には飾り



つけもそこそこにケーキを口に運ぶ方もいて、終始、楽しく・おいしいケーキ作りとなりました。

今年のクリスマスではデ



イールームの壁面にはスノーピークサンタがそりに乗って空を飛び、入り口には大きなサンタさんが今にも動き出しそうに皆さんを迎えました。製作としてはペットボトルのキャップを三角に繋ぎ合わせてクリスマスツリーを作りました。年末にはミニ門松を作りました。しめ縄作りで余った縄を筒に詰め、飾りをした爪楊枝を刺していくのですが、出来上がりはとても綺麗に仕上がりました。



《1月：初詣》

今年はお変則的なお正月休みで、1月4日の土曜日は臨時に営業させて頂きました。お風呂に入って双六をして遊びました。10日からは初詣として折上神社に出かけました。神社でお参りをした後はみんなで外食をし、楽しい初詣となりました。



《2月：節分》

節分には恵方巻きゲームを企画しました。海苔はフェルト、ご飯はおしぼり、きゅうりは緑のストロー、卵焼きは工作用の黄色いボードです。くるくる巻いてマジックテープでとめると、「あら美味しそうね、本物みたい」と出来上がった巻き寿司に感心して下さいました。



《3月：ひなまつり》

今年のお雛様製作はモビールにしました。お内裏様や雪洞を糸に貼って吊るすのですが、貼る所までは自力でして頂いたのですが、糸にビーズを通したり、紐をくくり付けるのは細かい作業で「ちょっと無理やわ、見えへんし手も動かへん」との声もあり職員がお手伝いして可愛いものが出来上がりました。



※デイでは3月末にはお花見ドライブ、その他にもイベントをたくさん予定しています。新型コロナウイルスが早くおさまり、色々なイベントを目一杯楽しむ事ができればと思っております。

*****編集後記*****

寒さも和らぎ、少しずつ春の陽気が訪れてきました。新型コロナウイルスが猛威をふるい、世界各国が対応に苦慮しています。日に日に感染人数が増え、オリンピックの開催も延期となり、世間では残念なニュースばかり目立ちますが、施設内では、入居者の皆さんが笑顔になれるイベントを企画していますので、楽しみにしてください。皆様におかれましても、感染予防に努めていただき、ご健康でお過ごしください。(阪井)